

『モードのジャポニスム TOKYO 』



©The Kyoto Costume Institute

判型：A 4 変形 240 頁
（内カラー152 頁）

監修：深井晃子（京都服飾文化研究財団）
発行：東京クリエイションフェスティバル
実行委員会
1996 年

目次

ごあいさつ

ジャポニスム概論

モードのジャポニスム

現代ファッションとジャポニスム

作品解説

エッセイ：

東インド会社

江戸時代の小袖

ヨーロッパに咲いた日本の菊

テクノロジーとモード

キモノ袖に関する一考察

坂倉芳明

（東京クリエイションフェスティバル実行委員会会長）

塚本幸一（KCI 理事長）

高階秀爾（国立西洋美術館館長）

深井晃子（KCI チーフ・キュレーター）

リチャード・マーティン

（メトロポリタン美術館衣装部門キュレーター）

ハロルド・コーダ（同アソシエート・キュレーター）

訳：上垣外憲一

浅田 實（創価大学文学部人文学科教授）

長崎 巖（東京国立博物館染織室長）

白幡洋三郎（国際日本文化研究センター教授）

鹿島 茂（共立女子大学文学部教授）

ヴァレリー・ギヨーム

（パリ市立衣装美術館キュレーター）

抄訳：古賀令子

Sada Yacco の「動きの美」	稲垣直樹（京都大学総合人間学部助教授）
装飾失墜あるいは布の勝利	モダニズム・モードの成立とその背景
	稲賀繁美（三重大学人文学部助教授）
デュナンの漆布	1920年代のモードと漆の質感
	周防珠実（KCI アシスタント・キュレーター）
流動的な身体	ファッション・アヴァンギャルドとしてのネオ・ジャポニスム
	鷲田清一（大阪大学文学部教授）
Japonism in Fashion: Overview	金井 純（KCI キュレーター・アット・ラージ）
年表	
作家解説	
文献目録	